

平成 22 年度伊佐市 6 月補正予算（案）の概要

5 月 28 日招集の 6 月議会定例会へ提案

1 今回の補正の主な内容

一般会計の補正予算額 2 億 2,468 万 6 千円(総額 150 億 3,468 万 6 千円)

- ・ 口蹄疫発生被害拡大への対応 子牛生産農家・養豚農家への支援 1,400 万円
- ・ 子どもの髄膜炎ゼロを目指す 小児用肺炎球菌ワクチンを全額補助 900 万円
- ・ おぎゃ - 献金発祥の地をアピール 記念ホール増築で子育て支援のメッカと位置づけ
4,000 万円(うち 日母おぎゃ-献金より 1,000 万円)
- ・ 焼酎用麴米生産拡大にて 6 次産業を推進 価格補償と機械導入 2,000 万円
(チャレンジ基金 400 万円を活用)
- ・ 雇用対策急ぐ 緊急雇用対策として 23 名雇用 2,000 万円
- ・ 映画「半次郎」を応援 チケット販売に助成 180 万円

2 補正予算総括表

(単位：千円)

	当初予算額	6 月補正 (定例会)	予算現額
一般会計	14,810,000	224,686	15,034,686
国民健康保険特別会計	4,559,700	15,769	4,575,469

3 主な補正項目・事業内容

(1) 農政課

口蹄疫発生による子牛生産農家・養豚農家への支援(支援金) 14,445 千円

子 牛 13,840 千円

伊佐市は搬出制限内にあるため、牛の競り市が開催できない。

・ 競り市延期による支援

子牛 1 頭当たり 10,000 円/月

養 豚 605 千円

預託農家への支援 1 頭当たり 1,500 円

肉豚農家への支援 1 頭当たり 4,000 円

(参 考)

- 1 移動制限
 - ・ 範 囲 発生農場を中心とした半径10km以内の区域
 - ・ 期 間 最終発生例の殺処分完了後21日間
 - 内 容 ・ 生きた偶蹄類の家畜の移動を禁止
 - ・ と畜場及び家畜市場の閉鎖等
- 2 搬出制限
 - ・ 範 囲 発生農場を中心とした半径10km～20km以内の区域
 - ・ 期 間 発生から21日間
 - 内 容 ・ 生きた偶蹄類の家畜の搬出制限区域外への移動を禁止
 - ・ と畜場以外の家畜を入場させる家畜市場の開催を中止等

麴用米生産拡大事業助成金 (チャレンジ基金)

4,000 千円

平成22年度7月から原材料等食品表示内容の変更(国内・外国産の表示)
現在の主食用米収入と麴用米(加工用米)との差額2万円/10aを助成し
農家の価格補償と遊休地等水田の有効利用を図る。

[栽培予定面積20ha]

(2) 健康増進課

小児用肺炎球菌予防接種ワクチンを補助 約600人を対象

9,520 千円

生後3ヶ月から3歳未満児まで全額補助、

九州では、全額助成はもとより、一部助成も初めてになります。

(5/19現在、全額助成は全国で5番目)

ワクチン発売は平成22年2月より開始

(3) 福祉事務所

おぎゃー献金記念ホールの増築

40,835 千円

プレイルーム・渡り廊下・外壁フェンス等の増築

財 源 財団法人 日母おぎゃー献金より10,000千円

おぎゃー - 献金のなりたち

鹿児島県大口市で産婦人科を開業している遠矢善栄博士が、近くに住む重症心身障害児の三姉妹をみて、何とか救済してあげたいものと色々手をつくされましたが、当時一部の軽症者を除いては、重症心身障害児収容の道は固く閉ざされていることを知りました。

そこでこれらの子供たちに少しでも幸福を分け与えたいと考え、健康な赤ちゃんをお産されたお母さん方と、それに立ち合った医師や看護婦さんたちが愛の献金をと発案されたのがこの運動の発端となりました。時に昭和38年暮のことでした。

遠矢博士の提案により、当時の日本母性保護医協会(日母)鹿児島県支部ではこれを『おぎゃー献金』と名付け、早速昭和39年1月から県内でこの運動を開始しましたが、さらに全国的にひろめたいと、日母本部に提案致しました。そこで昭和39年3月開催の日母定例代議員会にはかったところ、満場一致で可決され、その後実行に移すための具体策を検討し、同年7月1日、東大分院講堂において『おぎゃー献金全国運動発足の集い』を開催しました。このとき、高島忠夫氏夫人寿美花代さんが第1号の献金をして下さいました。

HPより掲載 日母おぎゃー献金 <http://www.ogyaa.or.jp/contents.htm>

(4)【緊急雇用創出事業】

緊急雇用創出事業・重点分野雇用創出事業で23名雇用

20,355千円

・「鹿児島県緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して

緊急雇用創出事業 林業関係に2名、農道整備関係に2名 土木関係に10名

重点分野雇用創出事業 伊佐ブランド発信に2名、農業振興地域整備に2名、

独居老人の実態把握に2名、ケアプラン点検に介護支援専門員1名、不法投棄防止

パトロールに2名の新規雇用創出を見込む。

(5)文化スポーツ課

映画「半次郎」ロケ地伊佐市 上映に対するチケット代の減額助成

1,818千円

・大人券 1,300円 1,000円

高校生券 1,200円 500円

中学生以下 800円 500円

その他の事業

()環境政策課

汚泥再生処理センター建設のための用地取得に

17,490千円

(施設の稼働は平成30年予定)

()長寿支援課

介護基盤緊急整備等特別対策に

37,050千円

・小規模福祉施設グループホームの建設と開設準備に要する経費を補助

財源 介護基盤緊急整備等特別対策事業 26,250千円

施設開所準備経費助成特別対策事業 10,800千円

()農政課

畜産基盤の整備事業として農家の希望により市町村が事業実施計画を作成

・地域振興公社が基盤整備の造成を行う

3,216千円

財源 畜産基盤再編総合事業推進費 3,216千円

経営体育成交付金事業

31,170千円

農業用機械整備の支援 新規就農者・認定農業者

・新規就農者の農業用機械の導入の初期投資4,000千円

・融資により農業用機械の導入 融資残の自己負担分を補助(30%補助)10,670千円

・共同利用施設 焼酎用麴米貯蔵施設、焼酎用麴米処理加工施設(破碎機)16,500千円

(1/2補助)

財源 経営体育成交付金事業補助金

【お問合せ先】伊佐市 財政課 財政係

電話：0995-23-1311(内線1141・1142)

e-mail：zaisei@city.isa.lg.jp